

## 子ども・子育て支援事業計画(幼児教育・保育の量と確保策)の改訂について

資料7

## ○量の見込みの設定方法

- ◇近年の4月1日の住民基本台帳上の年齢別児童数を踏まえて、今後5年間の年齢別児童数を推計する。(A)
- ◇昨年実施した保護者への利用希望アンケート調査の結果に、近年の保育所等の利用申し込み状況を加味して、年齢別・希望種別別(幼児教育と保育)に利用希望率を設定する。(B)
- ◇(A)×(B)で種別別のニーズ量を確定する。

## ○確保策の設定方法

- ◇基本的な考え方
  - ▽既存の社会資源を最大限活用する。
    - ・既存の認可保育所の定員を超えた受入数の上限を考慮する。
    - ・幼稚園の協力を得て、保育ニーズへの対応を検討する。
  - ▽施設の新設について
    - ・認可保育所の新設は、地域的バランス、ニーズの状況等も考慮し、慎重に検討する。
    - ・地域型保育事業(小規模保育事業等)は、卒後の受け皿が想定される事業について設定する。

## ○量の見込みと確保策の計画

- ◇5年間分を年度別に表にまとめる
- ◇表のつくりの案

令和2年度		1号	2号	3号			計	
		3歳～5歳		0歳	1歳	2歳		
①量の 見込み	子どもの人数(ニーズ量)							
②確保 の内容	教育	認定こども園(幼稚園型・教育)			—	—	—	
		幼稚園(施設型給付・教育)			—	—	—	
		幼稚園(私学助成・教育)			—	—	—	
		小計			—	—	—	
	保育	認定こども園(幼稚園型・保育)			—			
		幼稚園(施設型給付・保育)			—	—	—	
		幼稚園(私学助成・保育)			—	—	—	
		認可保育所						
		小計						
	地域 型 等	小規模保育事業(A型)						
		家庭的保育事業						
		企業主導型保育事業(地域枠)						
		小計						
	合計							
① = ②								

※当該年度の整備計画内容

(例)小規模保育事業 1か所(0歳 人、1歳 人、2歳 人)

## ○検討に当たっての留意事項

## ◇保育士の確保

- ・保育士不足が年々深刻となっている。

## ◇幼児教育・保育の無償化

- ・幼稚園の預かり保育が保育給付の対象となったことから、3歳以上の保育ニーズ(2号認定)への対応が可能となった。
- ・一方、認可外保育施設は、3歳未満児は給付対象となっておらず、3歳以上は給付対象。考慮しないと、認可外の定員分を別の施設の定員で割り振ることとなる。

## ◇将来的な児童減少への考慮

- ・就学前児童数は漸減している。

## ◇企業主導型保育事業の設置状況

- ・YBS 逗子（地域枠定員 18 名）逗子 1-2-22
- ・ココカラデザイン保育園 山本メディカルひでまり園（地域枠定員 7 名）逗子 5-4-29

## ◇認可外保育施設の設置状況

- ・ごかんのもり 定員 22 人(3歳以上) 新宿 4-7-32
- ・うみのこ 定員 30 人(3歳以上) 桜山 8-4-7

## ○近年の待機児童数

年度	H31.4	H30.4	H29.4	H28.4	H27.4	H26.4
0歳	9	0	5	3	0	1
1歳	1	5	9	15	4	14
2歳	1	3	11	1	0	10
3歳	7	0	1	0	0	3
4歳	0	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0	2
計	18	8	26	19	4	30

○ニーズ調査の概要と量の見込みの検討手法

◇0歳児のニーズ量の見込みがポイント

- ・0歳の定員を増やすと、6倍の定員を増やす必要がある。

◇国の考え【平成30年8月24日付け国通知】

0歳児保育の量の見込みについては、次の点を考慮する必要がある。

▽現在の育児休業の取得状況

「平成30年度雇用均等基本調査」より育児休業取得者の割合

女性：82.2%（対前年度比1.0ポイント低下）

男性：6.16%（対前年度比1.02ポイント上昇）

▽「1歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したい」者の保育ニーズの、今後の保育サービスの拡充に伴う変動

【逗子市調査結果(母親対象)】

71.7%が1歳まで取得を希望、1歳になる前に復帰したいは8.1%。(173P)

▽1年超の育児休業取得の希望

【逗子市調査結果】

1143件の回答者中、「育児休業取得した後に職場復帰した方」309名を対象に、「3歳まで育児休業制度があった場合の、復帰希望時の子どもの年齢については、「子どもが1歳までは22.3%、

「31か月から36か月の間は35.3%となっている。(167P)

▽年度当初から年度末にかけて、出生に伴い段階的に利用者数が増加することこのため、育児休業の取得状況の実態等を踏まえ、よりニーズの実態に近いものとなるよう、適切に量を見込むこと。

◇近年の4月の申込み状況

項目	H31.4	H30.4	H29.4
0歳児数	363人	321人	388人
保育所等申込数	91人	64人	81人
申込率	25.1%	19.9%	20.9%

○保育利用に係る現在の計画値とニーズ調査の結果概要

	現在の事業計画	ニーズ調査(精査前)
0歳	22.2%	69.2%
1歳	40.1%	60.1%
2歳	44.8%	
3歳	45.1%	44.8%
4歳	46.1%	
5歳	46.2%	

利用希望率は、推計児童数により変動する。

【本数値は、国の人口推計による】

○施設型給付の幼稚園への移行【関連事項】

- ・令和2年度から、聖マリア幼稚園が施設型給付の幼稚園へ移行すべく協議しています。
  - ・今後、法定の「確認」手続きを通じ、現在の利用児童数を踏まえ確認定員等を設定していきます。
- ※認可された幼稚園として、施設の法的性格は変更ありません。